

ハスモンヨトウ情報第2号

平成30年8月31日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今後の発生状況に注意。

1 発生状況

- (1) ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は、長久手市と豊橋市で8月中旬、急激に増加しましたが(図1)その他の地点ではおおむね平年並に推移しています。
- (2) 8月下旬のダイズにおけるハスモンヨトウの被害株率は、県内全域でおおむね平年並の状況です。

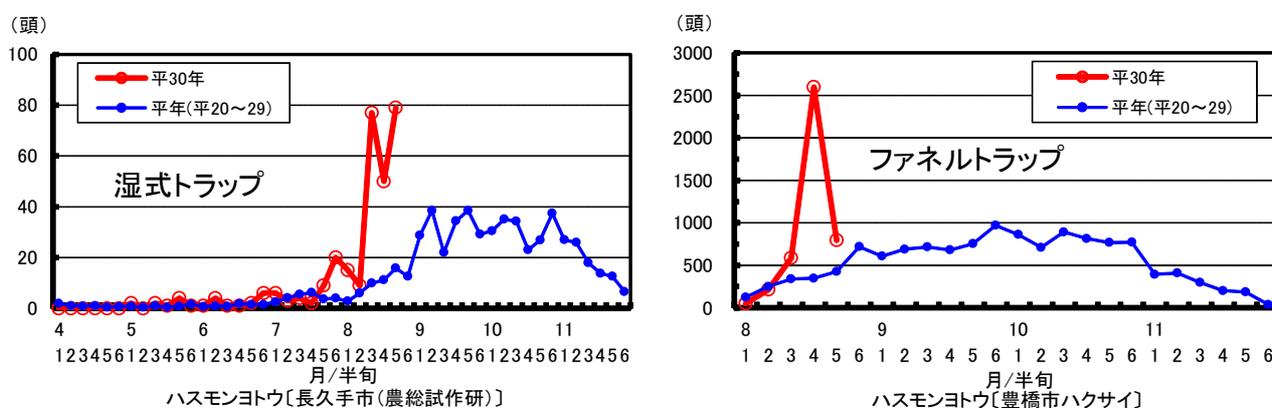


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数

2 防除対策

- (1) ハスモンヨトウは残暑が厳しく降雨の少ない年に多発する傾向があります。気象予報によると、9月の気温はほぼ平年並、降水量は平年並からやや多いと予想されていますが、気温が高くなった場合は急増する可能性があります。早めの防除を心がけましょう。
- (2) 中齢以降の幼虫(図2)は、薬剤による防除効果が低い傾向にあるので、分散前の若齢幼虫期(図3)に防除しましょう。
- (3) 薬剤感受性の低下を防ぐために、同一系統の薬剤を連用しないようにしましょう(表)。
- (4) ダイズほ場で白変葉が目立つ場合は、8月3日発表の「ハスモンヨトウ情報第1号」を参考に直ちに防除しましょう。



図2 ハスモンヨトウ中齢、老齢幼虫



図3 分散前のハスモンヨトウ若齢幼虫

表 ハスモンヨトウの主な防除薬剤

作物名	農薬名	使用時期	使用回数	IRAC コード
キャベツ	マッチ乳剤	収穫7日前まで	3回以内	15
	ファルコンフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	18
	トルネードエースDF	収穫7日前まで	2回以内	22A
	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	6
	アフアーム乳剤	収穫前日まで	3回以内	6
	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	22B
	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	28
	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	28
	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	13*
はくさい	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	6
	アクセルフロアブル	収穫前日まで	3回以内	22B
	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	28
	プレバソンフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	28
	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	28
	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	5
野菜類（はくさいを除く）	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し、 収穫前日まで	—	11(A)
野菜類	フローバックDF	発生初期但し、 収穫前日まで	—	11(A)

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism_irac02.pdfを参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。

3 その他

ハスモンヨトウと同時にシロイチモジヨトウやオオタバコガが発生している場合があります。どの害虫が発生しているかよく観察し、適用のある農薬で防除しましょう。